

Newton e-Learning を利用した英語教育について ～札幌大学様の取組み～

株式会社ニュートン「Newton e-Learning 事例報告」編集グループ

英語コミュニケーションの重要性が高まっている一方で、大学生の英語力がむしろ低下傾向にあると指摘されています。私立札幌大学様(北海道札幌市)では、学生の英語基礎力を養成するさまざまな取組みのなかで、Newton e-Learning の「自動繰り返し学習機能」に着目。独自開発のリメディアル教材を弊社 e-Learning プラットフォームに搭載され成果を上げられました。今回はこの取組みについてご紹介いたします。

■ 大学生の英語基礎力を向上させる教材を探したが…

札幌大学様では平成16年度以来、各学部でそれぞれに行っていた英語教育を共通化し、わかりやすいテキストと丁寧な解説、毎時間の小テスト実施などで学生の基礎力養成に取り組まれてきました。しかし、多様な学力の学生に対応するため、さらに豊富な問題演習をさせ、それぞれに対して即座にフィードバックをするような教育の必要性が高まりました。

ところが入門的な内容を扱い、必要な量の問題演習をさせるような要求を満足させる既成教材は見当たりませんでした。

そこで、同大学の尾田智彦先生、田原博幸先生らは自作教材の開発を決意されました。

■ 自動繰り返し学習機能は英語補習指導に有効！

基礎学力の不足する学生に対する補習教育、いわゆる「リメディアル教育」の必要性が指摘されています。2005年には日本リメディアル教育学会が設立されるなど取組みが進む中、効果的なカリキュラムが模索され続けています。

こうした現状において、尾田・田原両先生らは、「繰り返し正解できるまで解答させるタイプの eラーニングシステムは、入門段階でつまづいている英語学習者の学力向上に有効である」との考えをお持ちです。

一方 Newton e-Learning は、間違えた問題を3回続けて正解できるまで自動的に繰り返し学習することができるシステムで、初級レベルから

TOEIC® TEST で満点を狙う多様な英語学習者に対応させることが可能です。

さらに、オリジナル教材も作成することができます。その方法はいたって簡単で、所定フォーマットの Excel ファイルに先生が作成された教材内容を書き込むことで作業は終了します。

両先生らは、英検4級の学習項目について、文法シラバスで体系的に作成したオリジナル教材データを Newton e-Learning システムに搭載し、さらに紙媒体テキスト付きの複合型教材を作成されました。

■ Newton e-Learning を搭載したオリジナル教材を授業で活用

2009年、Newton e-Learning を搭載したオリジナル教材を、大学の共通英語科目でもっとも習熟度が低い学生が対象の「共通英語コミュニケーション入門」で統一教材として採用しました。当教材は文法シラバスに基づいており、機能シラバスの教材で積極的に取り上げられる表現をその表現に含まれる文法事項の中に組み込み、「文法シラバスと機能シラバスの融合」を実現したことにより、機能シラバスで使われる表現も無理なく修得できるようになりました。

2010年度には教材内容を英検3級まで拡充し、「eラーニングで身につける英語の基礎」として新たな教材を作成し、同科目で活用されています。

■ 学生からも高い評価のリメディアル e ラーニング

授業評価アンケートでは、教材の内容、問題数などの設問でも「満足」「効果的」という好意的な回答が否定的な回答を大幅に上回りました。

なかでも注目すべきは、1,500問を超える数の問題数があるにもかかわらず、「英語の基礎力をつける目的に照らしてどう思うか？」との質問に「ちょうどいい」という回答が単独では最も多く41%だったことです。さらに「足りない」「やや足りない」の合計が12%という意外なほど高い数値でした。これは、入門段階でつまずいたままその後の積み上げが困難であった学生でも、英語の基礎を真に固めてくれる今までにない教材であれば、積極的に取り組む意欲を持つことを証明しています。英語力の向上はもちろんのこと、学習全般に対する意欲にも好影響が期待されることでしょう。

田原先生は、「長い解説も、受講生は必要性を認識してくれたようで、思った以上に多くの学生が解説を読んでくれていることがわかりました。この教材を

作らずにいけないという私の思いを理解してくれた学生が多くいることをうれしく思います。英語の習得に失敗してきた学生に概ね喜ばれる教材を作ることができたようです」と感想を述べられています。

【お知らせ】

札幌大学の田原博幸先生著、英語の入門から英検3級までの内容習得を図る、『eラーニングで身につける英語の基礎』を頒布いたします。

「間違えた問題だけ自動的反复学習でスピーディーにマスター！」
 「正解にたどりつくまでに考えなければならないことを全部書いた画期的な解説！」
 「英語が苦手な学生も納得のわかりやすいテキストでポイントを整理・確認！」
 など、確固たる英語基礎力が身に付く教材です。

個別の進度や進捗度が把握できる「管理者機能」も充実しています。

≪ 税込販売価格 2,200 円、期限 6 か月の eラーニングつき ≫

ご希望される方は、弊社までご連絡ください。TEL 03-5352-7762



裏面に「2010秋・eラーニング研修セミナー」の詳細を掲載しております。
 eラーニング活用について最新の報告でございます。ぜひご覧ください。

ニュートンプレスからの新刊のお知らせ

科学雑誌『Newton』最新号 10月26日発売	Newton 別冊 新刊 10月27日発売
 <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 10px; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: small;">12月号本誌 宇宙にまで進出した知的生命体 ホモ・サピエンス 圧倒的なヒトの頭脳、 そのしくみは？</p> <p>ノーベル化学賞 日本人同時受賞！ 定価 1,000 円(税込)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 10px; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: small;">「心」はどこにあるのか 脳の最新科学、そして心との関係</p> <p>喜ぶ、悲しむ、決断する……。 私たちの心や思考は、 どうやって生みだされているのだろう。 定価 2,415 円(税込)</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 10px; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: small;">この真実を知るために 地球温暖化 改訂版</p> <p>「日本は、2020年までに25%削減する」。 私たちは、どうすれば責任を果たせるか。 地球温暖化問題の核心に迫る！ 定価 1,995 円(税込)</p> </div> </div>
<p>科学の世界へとびらを開く科学雑誌「Newton」を定期購読しませんか？ 毎月26日発売年間購読定価 12,000 円(税込) 詳しくは、http://www.newtonpress.co.jp または『Newton』内の定期購読募集ページをご覧ください。</p> <p>お問い合わせはニュートンプレス営業部（TEL：03-5352-6054）までご連絡ください。</p>	

※株式会社ニュートンプレスは、科学雑誌『Newton』を発行している弊社のグループ会社です。